

なら糖尿病デー2019 を開催しました。

開催日：2019年11月17日（日）

場 所：奈良県総合医療センター

テーマ：未来につなぐ糖尿病予防

～こどもからおとなまで

いろんな世代で糖尿病を考えよう～

11月14日は世界糖尿病デーです。奈良県下の医療機関で糖尿病にかかわる医師やスタッフが一堂に集まり、糖尿病患者さんや家族の方々に「糖尿病」について触れ、学んでいただきたいという思いからこのイベントが毎年開かれています。

今年は、初めて奈良県総合医療センターでの開催としました。天候にも恵まれ、多くの方々にお越しいただきました。

今年のテーマは、「未来につなぐ糖尿病予防～こどもからおとなまでいろんな世代で糖尿病を考えよう～」と題して、お子様からお年寄りまでいろんな世代の方に参加いただけるイベントを企画いたしました。

医師や栄養士、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師、看護師、歯科医師、歯科衛生士、患者会の展示、栄養士部会による毎年好評の寸劇など、さまざまなコーナーをご用意いたしました。特別講演では、大阪母子医療センターの位田忍先生をお迎えして、小児で増えている肥満や生活習慣病についてお話をいただき、参加者のお子さんやお孫さんのことに思いを寄せていただく機会といたしました。

多くのご来場のみなさま、スタッフのみなさまありがとうございました。

なら糖尿病デー2019 実行委員長 上嶋昌和

（奈良県総合医療センター 糖尿病・内分泌内科 部長）



看護の計測問診



血糖測定



健口チェック



患者会の展示



青の写真



薬剤師の展示とクイズ



患者会の展示



栄養士の寸劇



特別講演 位田忍先生



座長 上嶋医師

11月14日
世界糖尿病デー



スタッフ集合写真



金峯山寺ブルーライトアップ



JR 奈良駅舎ブルーライトアップ